

表題
注:本文より大きな
ポイントにして下さい

会員種別,発表者名(連名の場合は講演発表者を
筆頭に記し,その名前の前に○をつける)

上マージン25mm

日本建築学会大会学術講演会 研究発表梗概原稿募集

キーワード1 キーワード2 キーワード3
キーワード4 キーワード5 キーワード6

正会員 ○建築 太郎*
同 建築 花子**

応募規定

- 研究内容 建築に関する学術・技術・芸術の最近の研究成果、または統計的資料、調査報告等で未発表のもの。ただし、「論文集」および本会「支部研究発表会」で発表したもの、ならびに他学会論文集等に発表したもので、特に建築に関連の深いものはこの限りでない。
- 応募・発表資格 研究発表者（講演発表者および共同発表者）の資格は次による。
 - 講演発表者（○印）は次のいずれかの条件を備えた者とする。
 - 論文予約会員となっている正会員（個人）・準会員
 - 論文予約会員以外の正会員（個人）・準会員であって、発表登録費を期限までに納入した者。
 - XXXX年度会費未納者、XXXX年度以降の大会発表登録費未納者、XXXX年度論文予約購読費未納者は応募できない。
 - 共同発表者（連名者）は次のいずれかの条件を備えた者とする。
 - 論文予約会員となっている正会員（個人）・準会員。
 - 論文予約会員以外の正会員（個人）・準会員であって、発表登録費を期限までに納入した者。
 - XXXX年度会費未納者、XXXX年度以降の大会発表登録費未納者、XXXX年度論文予約購読費未納者は応募できない。
 - 会員外であって、発表登録費を期限までに納入した者。
- 研究発表者の権利・義務は次のとおりとする。
 - 講演発表者（○印）は、大会学術講演会に出席し、1名1題に限り講演発表を行うことができる。
 - 講演発表者は必ず大会に参加し講演発表をしなければならない。共同発表者の代理講演は認めない。
 - 共同発表者（連名者）は、名を連ねる梗概の題数に制限はないが、講演発表を行うことはできない。
 - 講演発表者の出席・欠席は学術推進委員会に報告され、記録として保存される。また、欠席の講演番号は本会ホームページにて公表される。
 - 同年度の建築デザイン発表会の講演発表者は学術

- 講演会の講演発表者になることはできない。
- 応募方法 本会所定の研究発表申込書・研究発表梗概原稿の本会学術推進委員会への提出をもって申込みとする。
なお、締切後の原稿の訂正は一切認めない。
 - 発表部門 発表部門は下記の12部門のいずれかとし、研究発表申込書の所定欄に発表希望部門・細分類・細々分類を明記する。
 - 材料施工、2. 構造、3. 防火、4. 環境工学、5. 建築計画、6. 農村計画、7. 都市計画、8. 建築社会システム、9. 建築歴史・意匠（建築論を含む）、10. 海洋建築、11. 情報システム技術、13. 教育
 - 発表部門：研究発表申込書の所定欄に発表希望部門・細分類および細々分類を明示する。ただし、プログラム編成に際し、学術推進委員会において発表部門・細分類・細々分類を変更する必要がある。
 - ポスター発表の決定は学術推進委員会プログラム編成会議が行う。発表方法等の詳細については、各発表部門を担当する調査研究専門委員会から連絡する。なお、ポスター発表は希望者以外にも依頼する場合がある。
 - 発表方法 発表の方法は口頭発表（オーガナイズドセッションを含む）とポスター発表（ポスターセッション）の二種類とする。発表方法等の詳細については、各発表部門を担当する調査研究専門委員会から連絡する。口頭発表に際しては会場に備え付けられた機器（PC用プロジェクター）以外の使用はできない。
 - 研究発表梗概の採否 研究発表梗概の採否は、学術推進委員会が決定する。下記条項等に照らし大会学術講演会発表梗概として不適当と認められるものは採択しない。不採択となった場合はX月X日までに本人に通知する。なお、提出された原稿は一切返却しない。
 - 梗概に記した説明が著しく不十分なもの。
 - 同一または類似の研究発表がすでに行われているもの。ただし、既発表の研究内容を前進させたものはこの限りでない。
 - 内容が商業宣伝に偏したもの（商品名の使用には注意すること）。

左マージン
15mm

カラム間マージン
6mm

右マージン
15mm

Instruction for Summaries of Technical Papers of Annual Meeting

KENCHIKU Taro, KENCHIKU Hanako

カラム幅87mm

下マージン22mm

欧文表題

罫線を入れる
(1ページ目と4ページ目のみ)

講演発表者名(ローマ字で、
姓・名の順に記入する)

上マージン25mm

- d. 他者を誹謗中傷する内容を含むもの。
 - e. 応募規程、執筆要領に反するもの。
8. 発表登録費 発表登録費は表-1による。ただし、留学生で会員の発表登録費は応募申込み時に申請があれば減額する。
- a. 論文予約会員は発表登録費を免除する。
 - b. 数題にわたって応募する場合も発表登録費は1題分とする。
 - c. 講演発表者(○印)は発表者を代表して共同発表者の納入の義務を果たすものとし、全員の発表登録費の納入のない場合は、当該研究の講演発表ができない。
 - d. 発表登録費未納者は、XXXX年度以降の学術講演会および建築デザイン発表会に応募できない。

表-1 発表登録費

種別	発表登録費	講演発表	共同発表
論文予約会員	免除	可	可
正会員・準会員	X,XXX円	可	可
留学生の会員	X,XXX円	可	可
会員外	X,XXX円	不可	可

- 9. 大会参加費 大会に参加する者は前記9の発表登録費とは別に大会参加費を納入するものとする。
- 10. 梗概集 採択された研究発表梗概はDVD版大会梗概集(学術講演梗概と建築デザイン発表梗概を収録)および冊子版梗概集に収録し、「大会学術講演梗概集」として頒布する。なお、発表登録費納入者にはDVD版梗概集および当該発表梗概が掲載されている冊子版梗概集1冊を無償で送付する。
- 11. 著作権
 - (1) 著者は、掲載された研究発表梗概の著作権の使用を本会に委託する。ただし、本会は、第三者から文献等の複製・引用・転載に関する許諾の要請がある場合は、原著者に連絡し許諾の確認を行う。
 - (2) 著者が、自分の梗概を自らの用途のために使用することについての制限はない。なお、掲載された梗概をそのまま他の著作物に転載する場合は、出版権に関わるので本会に申し出る。
 - (3) 編集出版権は、本会に帰属する。

応募上の注意

1. 会員番号・大会用会員外登録番号の取得

XXXX年度大会で研究発表するために新たに入会される方は、応募時までに必ず入会手続きを済ませてください。電子投稿・紙面投稿にかかわらず、応募するためには研究発表者(会員外も含む)全員の会員番号または大会用会員外登録番号が必要です。

応募時に会員番号または大会用会員外登録番号(会員外共同発表者)が入手できていない方は、次の方法

により取得してください。

会員番号の取得：本会ホームページ

(<http://www.aij.or.jp/jpn/nyukai/>)で入会手続きを行ってください。①オンラインの入会手続きを行うと、会員番号を即時に取得することができます。②オンラインの入会手続きを行わない方は、入会申込書をダウンロードして記入後送付してください。会員番号を取得できるまで時間がかかりますので、できるだけオンラインの入会手続きをご利用ください。

入会予定者は入会金・会費を入金いただかないと入会手続きが完了しません。

大会用会員外登録番号の取得：本会ホームページ

(<http://www.aij.or.jp/jpn/taikaiXXX/>)で取得してください。

2. 発表登録費

- a. 論文予約会員以外の研究発表者(講演発表者ならびに共同発表者)は、発表登録費を納入しなければなりません。
- b. 発表登録費は採択決定後、論文予約会員以外の方に請求書を送付しますので、請求書に記載の期限までに納入してください。応募の際に小切手・為替等は一切同封しないでください。
- c. 留学生の会員は、研究発表申込書の所定欄に会員番号とともに「留学生」と明記してください。

3. 電子投稿

- a. 電子投稿による研究発表梗概原稿はAdobe Acrobat XX以降(または同等品)を用いて変換したPDFファイルのみとします。Adobe Acrobatをお持ちでない方はあらたに購入していただく必要があります。PDFファイル読みとり専用のAdobe ReaderではPDFファイルに変換することはできません。なお、原稿作成に使用するワードプロセッサ等のアプリケーション、OSは問いません。
- b. 原稿の提出はインターネット経由に限ります。フロッピーディスク等の郵送、持参は受け付けません。
- c. 原稿のPDFファイルの大きさはXXMB以下としますが、できるかぎりXXMB以下となるようにご協力をお願いします。XXMBを超えるファイルはサーバーが受け付けません。なお圧縮ツールは使用しないでください。
- d. 本文の文字は黒色としますが、図・表・写真等については色の制限はありません。ただし、冊子版梗概集は、提出されたPDFファイルをモノクロプリンターでプリントしたものを版下にして印刷します。

4. オーガナイズドセッション

オーガナイズドセッションに採用された研究発表者も、この応募規程により研究発表梗概原稿を提出してください。

下マージン22mm

コラム幅87mm

左マージン15mm

コラム間マージン6mm

右マージン15mm



上マージン25mm

5. 発表部門別注意事項

a. 構造部門・環境工学部門

- ①連続して複数応募する場合は、各編が独立した内容でなければなりません。この場合、内容を適切に表したものを表題とし、共通の総主題はサブタイトルとしてください。
- ②共通の総主題で通し番号のついた一連の研究は、同年度に3編以内とします。3編以内の一連の研究はまとめて発表できるようにプログラム編成時に配置しますが、3編を超えるものについては4編目以降を不採択としますので注意してください。

研究申込書記入要領

ホームページ上の申込書では画面の指示に従って入力してください。キーワードのないものは登録できませんので、必ず入力してください。

1. 全般的注意

和文はすべてJIS第一水準、第二水準の漢字を使用してください。漢字の新旧字体が混合すると同一の論文、用語あるいは著者として検索できず欠落を生じるおそれがありますので注意してください。英文表記の際、大文字は文頭および固有名詞のみに用いてください。

2. 表題

英文発表の場合は英文欄に英文表題を入力してください。

3. 本文の言語

日本語または英語とする。

4. 和文著者名

姓・名前を/で区切って、姓・名の順に入力してください。

5. フリガナ

姓・名前を/で区切って、姓・名の順にカタカナで入力してください。

6. 英文著者名

姓・名前を/で区切って、姓・名の順にローマ字で入力してください。

7. 所属名称

発表時の所属名称を下記の要領で入力してください。

- a. 機関名は特に指示のない限り省略しないでください。

(例) 「東工大」とはせず、「東京工業大学」とする。

ただし、「株式会社」「財団法人」「Incorporated」「Limited」等は省略する。

(例) 「株式会社日本建設」とはせず「日本建設」とする。

- b. 所属が長い名称のときは、わかる範囲で部課名などを略称しても結構です。NTTなど略称のほうがよく知られている場合は、略称でも結構です。

- c. 著者の所属名称が欧文形のみの場合は、所属機関の所在地原語で英文所属名称の欄のみ入力してください。

さい。

8. 希望発表部門・連続講演

- a. 発表を希望する部門・細分類・細々分類を「細分類・細々分類一覧表」により入力してください。
- b. 本年度連続原稿がある場合は以下のように明示してください。

2編のうちの第1編の場合 1/2

3編のうちの第2編の場合 2/3

それぞれの申込みに1編目の発表者の会員番号を明示してください。

9. キーワード

キーワードの選択にあたっては、単に表題中の語を再録するのではなく、その研究が検索されるうえで最も効果的と思われる語を、和文・英文とも6個以内を入力してください。

なお、キーワードとする用語は日本建築学会「学術用語集—建築学編」から選ぶことを基本としますが、適当な語がない場合はこの限りではありません。

原稿執筆要領

研究発表梗概原稿は、執筆要領にしたがって執筆します。書き方書式例を参照してください（大会ホームページに掲載）。

1. 用紙設定

白地のA4判2ページとする。横書き2段組を原則とし、ワープロソフト等で上マージン25mm、下マージン22mm、左右マージン15mm、1段を87mm（段の間隔6mm）、1ページあたり48行、1段あたり25文字を基準（文字の大きき9.5ポイント相当）として設定する。なお、この基準から大きく逸脱した原稿は、執筆要領に反するものとして不採択となる場合がある。

2. 文字

和文はJIS第一水準、第二水準の漢字を使用する。本文書体は和文は明朝体、欧文はTimes New Romanを用いることが望ましい。

3. キーワード

研究発表申込書に記入したものと同一和文キーワード3~6個を必ず記述する。用語は日本建築学会「学術用語集—建築学編」から選ぶことを基本とするが、適当な語がない場合はこの限りではない。

4. 記載方法

- a. 1ページ目上段

・1ページ目上段に表題、会員種別・発表者名、キーワードの順に記載する。

・表題は第1行に、本文より大きな文字で書く。

・会員種別・発表者名（連名の場合は講演発表者を筆頭に記し、氏名の前に○印をつける）は上段右側に寄せて書く。

・キーワードは上段左側に寄せて書き、キーワードと本文の間は1行あける。

- b. 1ページ目下段（欧文表題・欧文発表者名）

左マージン
15mm

コラム間マージン
6mm

右マージン
15mm

コラム幅87mm

下マージン22mm

